

■受講生の傾向

近江環人地域再生学座は、自治体職員、民間企業、NPOや自治会に所属されている方、建築や都市計画の専門家など様々な所属、専門の方が受講しています。令和6年度末で178名の方が称号を獲得しました。年齢も20～70才代までと様々です。1年間(又は2年間)の授業では、大学院生と社会人が互いに刺激を受けながら共に学びます。



■Q & A

Q：応募に必要な資格はありますか？

A：大学を卒業した方、もしくはそれと同等以上の学力があると認められた方で、①滋賀県内の自治体職員または関係団体職員の方、②滋賀県内の企業に勤める方、③滋賀県内の企業あるいはNPOに所属する方、④地域活動の実績を有する方のいずれかに該当する方で、「近江環人」の称号を取得し地域活動への参画に意志のある方です。詳しくは募集要項を参照してください。

Q：年齢制限はありますか？

A：ありません。ただし、実習等のプログラムを遂行することが必要です。

Q：オンデマンド講義はどこで学習しても良いのですか？

A：講義配信とレポート提出の期日がありますので、その間であればいつでもどこでも何度でも繰り返し学習することができます。

Q：仕事の都合で授業を休んでしまった場合、補講などありますか？

A：座学の授業についてはオンデマンドを利用することができます。スクーリングは必ず出席いただきます。

Q：建築関係者ではありませんが受講できますか？

A：本プログラムは「まちづくり」の担い手を育成するプログラムであり、建築の専門知識を有しているかどうかは問いません。理系文系関係なくこれまでも多様な分野の方々が受講しています。

Q：受講料はいくらですか？

A：令和7年度は、入学検定料9,800円、入学料（県内者）28,200円（県外者）42,300円、授業料1単位につき7,400円(通常の授業料14,800円を半額に減免しています)で、県内者で必修・選択科目14単位すべてを受講した場合、合計141,600円でした。なお、授業料の額は令和7年度の額であり、改定されることがあります。**その他、不明点はお気軽にお問い合わせください。**

■大学院進学～更なるステップへ～

近江環人地域再生学座で修得した単位は、滋賀県立大学大学院の各研究科の定められた範囲内で履修単位として認められます。（最大10単位）

この制度を利用し、本学大学院へ進学すれば履修期間を短縮することも可能です。これまで11名が大学院へ進学し、うち4名が短縮制度（1年間で修士号を取得）を活用しました。

■修了後のフォローアップ

平成23年1月、コミュニティ・アーキテクト（近江環人）の称号を得た修了生が中心となって、地域再生・まちづくりを支援するNPO法人コミュニティ・アーキテクトネットワーク（略称NPO法人環人ネット）が設立されました。同NPO法人では、会員のスキルアップ、後進・人材の育成、具体的な地域再生・まちづくり活動を実践しています。詳しくはインターネットで「環人ネット」と検索してください。

■お問い合わせ

公立大学法人滋賀県立大学 地域共生センター 近江環人地域再生学座 事務局
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500 担当：鶴飼／上田／田中／井上
メール：kanjin@office.usp.ac.jp 電話：0749(28)9851 Fax：0749(28)0220



※近江環人地域再生学座(社会人コース)は文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)【地方創生】認定講座です。
指定番号:2510005-1910011-4 開始日2026年4月10日 修了日2027年3月20日
※近江環人地域再生学座は一般財団法人滋賀県市町村職員互助会からの寄付を活用して運営しています。2025/10



地域に根ざしたまちづくりの担い手:近江環人(コミュニティ・アーキテクト)育成プログラム
文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)【地方創生】認定講座



お う み か ん じ ん ち い き さ い せ い が く ぞ

近江環人地域再生学座

社会人コース

湖国近江：滋賀県で学ぶ

地域に根ざし、地域に寄り添う
まちづくりのノウハウを学ぶ



コミュニティ・アーキテクト
近江環人

近江環人地域再生学座の概要

● 新しい地域社会を切り拓く人材育成プログラム：19年間で178名を輩出

近江環人地域再生学座は、湖国近江をフィールドに、地域診断からまちづくり活動の実践まで、地域における多様な活動や挑戦のための知識・手法の教授を通じて、地域資源を活用した地域課題の解決や地域イノベーションを興し、**新しい地域社会を切り拓く、イノベーターやコーディネーター：「近江環人（コミュニティ・アーキテクト）」**を育成する講座です。2006年の開講から19年間で178名を超える人材を育成し、滋賀県内外で多くの近江環人が活躍しています。受講生は、民間企業、行政、NPO、自営業、大学院生など**多様な立場やスキルに、新たな知見や価値観を加え、スキルアップを図り、活動を進化**させていきます。



授業は、講義とディスカッションで構成。

● カリキュラム構成：1年間or2年間で10科目12単位履修

履修期間は、基本的に1年間での履修を想定していますが、各自の都合に合わせて、2年間での履修も選択可能です。カリキュラムは、前期5科目、後期5科目の必修科目、夏休み期間中の集中講義1科目の選択科目、計11科目14単位で構成されています。**社会人は必修の10科目12単位を取得し、検定試験に合格することで、称号「近江環人（コミュニティ・アーキテクト）」を大学が授与**します。大学院生の履修は「履修のてびき」を確認してください。



対面とオンラインのハイブリッド講義。

● 受講費用等：セット割引で半額。減免や補助制度も充実

本学大学院生は無料で、どの研究科に所属していても受講できます。社会人大大学院生が受講する例もあります。社会人は「科目等履修生」の料金：1単位14,800円が通常ですが、**学座はセット料金が適用され、この半額1単位7,400円、必修10科目12単位で88,800円＋入学金（県内者28,200円、県外者42,300円）で合計117,000円～となります。**（2025（令和7）年度入学の場合） また、（一社）**滋賀県市町村職員互助会加盟の基礎自治体職員は受講料が全額免除に、雇用保険を2年以上支払っている方は、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金制度の利用が可能で最大50%の給付金**を受けることができます。（1年コースのみ） その他の費用としては、実践現場体感特別講義Ⅰ、Ⅱでの宿泊、食事費用が必要です。また、コミュニティ・プロジェクトⅠ、Ⅱでは、プロジェクトに必要な経費の補助制度も利用できます。



西栗倉村の現場講義。講師は近江環人の与語さん。

● 大学院レベルの教育プログラム：大学院単位として認定

学座は、年間10名を定員とした少数精鋭のプログラムで、社会人受講生と現役大学院生と一緒に受講する**大学院に設置された教育プログラム**です。大学院生は各専攻の指定する単位数が認定され、社会人は科目等履修生としての受講となりますが、**取得した単位は、滋賀県立大学大学院に進学すれば各専攻で指定する単位数が認定**される仕組みです。この制度を利用すれば最短1年で大学院を修了することも可能です。これまで11名が大学院に進学しています。



地域での実践的なフィールドワークへ参加も。

● 受講・学習方法：オンライン、オンデマンドで受講可能

授業は金曜日16時30分～と土日に開講されます（日程はスケジュール参照）。**対面、オンラインのいずれでも受講可能**です。対面とオンラインを併用したハイブリッド型にも対応しています。欠席者はオンデマンドでの受講が可能です。90分間の講義では、学びを深めるために、受講生との議論や、受講生同士の意見交換の時間を設けています。現場講義では、現場で講師の生の声に学びます。成績はネットで提出するレポートで採点されます（コミュニティ・プロジェクトⅠ、Ⅱのプレゼンテーションを除く）。

● カリキュラムマップと授業概要

・各科目と身につける力の関連表

期	科目名	身につける力	新しい知見	地域分析の手法	地域マネジメントの手法	講師とのネットワーク	企画力・実践力	単位数
前期	地域デザイン特論		○	◎				1
	地域マネジメント特論		○		◎		○	1
	成熟社会デザイン特論		◎			◎		2
	実践現場体感特別講義Ⅰ		○			◎		1
	コミュニティ・プロジェクトⅠ		○	○	○		◎	1
後期	地域再生学特論		○		○	◎		1
	地域イノベーション特論		◎					1
	サステナブルデザイン特論		◎			◎		2
	実践現場体感特別講義Ⅱ		○			◎		1
	コミュニティ・プロジェクトⅡ		○	○	○		◎	1
夏休み	(選択科目)地域再生システム特論			○	◎		○	2
計								14

■ 地域デザイン特論 前期前半 1単位

地域デザインの基礎として、地域を知り、地域の特性を把握する手法「**地域診断法**」をマスターします。

■ 地域マネジメント特論 前期後半 1単位

地域に入り込み、地域を動かすノウハウと、地域の持続性を生み出す**コミュニティ・ビジネス**の手法をマスターします。

■ 成熟社会デザイン特論 前期 2単位

成熟社会をテーマに、看護学、社会学等の専門家教員によるオムニバス形式の講義で、**成熟社会に対する知見を深め**ます。

■ 実践現場体感特別講義Ⅰ、Ⅱ 前後期 各1単位

1泊2日で滋賀県内外の**先進的な取り組みを訪問し、現場の実践者を講師にそのノウハウを学び**ます。実践者から多くの刺激と知見を得る機会となります。また、**受講生同士のつながりを育む機会**でもあります。



上勝町のいづり農家さんへの訪問

西栗倉村のローカルベンチャーを視察

奈良の伝統野菜を味わいディスカッション

■ コミュニティ・プロジェクトⅠ、Ⅱ 前後期 各1単位

受講生の設定した課題に対して、ゼミナール形式で教員が指導を行います。課題解決の糸口や手法、メンタル的なアドバイスを受けることができます。また、ゼミ生同士の交流は、仲間意識を育み、切磋琢磨する機会となります。

■ 検定試験

検定試験は、学習の成果を確認する試験です。小論文による筆記試験と面接試験で行われます。試験結果に基づいて、大学が称号「近江環人（コミュニティ・アーキテクト）」を授与するかどうか判定します。